

■ 卷 頭 言 ■

環境科学研究の発展を期待

環境庁長官 森 美 秀



昭和61年地方公共団体公害試験研究機関等，所長会議の開催に際し，環境に関する試験研究等に携っておられる皆様に一言御挨拶申し上げます。

皆様がたには，日頃，地域の環境問題に取り組まれ，各般にわたる試験研究に大変御苦労いただいております，厚く御礼申し上げます。

今年は環境庁が昭和46年に発足してから，ちょうど15周年目に当たり，私としてもその使命の重大さを痛感しております。

とくに，交通公害や湖沼・中小河川の水質汚濁など，都市生活型公害の分野では課題が山積しており，また先端産業による化学物質汚染など新しい問題も多々生じてきております。

これらに的確な対策を講ずるとともに，国民の健康で快適な生活を守るために，長期的な展望の下に環境保全型の社会を形成していく必要がありますが，このためには基盤となる科学的知見の蓄積と環境科学研究の推進が不可欠であります。

皆様がたにおかれましては，一層の研鑽，努力をいただき，環境科学の発展と環境政策の推進に大きく寄与されるようお願いいたします次第です。

最後に皆様がた各試験研究等機関のますますの発展を祈念して，私の挨拶といたします。

本稿は昭和61年6月17日に開催された昭和61年度地方公共団体公害試験研究機関等所長会議における挨拶である。
